



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月15日

上場会社名 株式会社マイネット 上場取引所 東
 コード番号 3928 URL http://mynet.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 村兼 躍 (TEL) 03-6864-4261
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	2,898	—	247	—	233	—	98	—
28年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 98百万円(—%) 28年12月期第1四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	12.37	11.14
28年12月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、平成28年12月期第1四半期は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、平成28年12月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	9,683	6,893	71.1
28年12月期	10,223	4,050	39.3

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 6,883百万円 28年12月期 4,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

連結業績予想に関する序文

連結業績予想につきましては、現時点において適切な予想値を算出することは困難な状況であるため、記載しておりません。詳細は添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)—

00

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期1Q	8,108,000株	28年12月期	7,128,000株
29年12月期1Q	—株	28年12月期	—株
29年12月期1Q	7,939,556株	28年12月期1Q	6,664,000株

- (注) 当社は平成29年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、アジア経済の減速、英国のEU離脱問題、米国新政権の政策運営の動向など先行きに関して不透明な状況にあった一方、我が国経済においては、国内景気の底堅い回復により企業収益の拡大、雇用情勢の上向きなど総じて緩やかな回復基調となりました。

このような環境の中、スマートフォンゲーム市場の成長は頭打ちとなっており、2016年度の予想市場規模は対前年度比伸び率は102.2%の9,450億円、2017年度は同101.6%の9,600億円となっております(「矢野経済研究所」より)。このような成熟期に入ったスマートフォンゲーム市場では、ゲームメーカーとサービス事業者の役割分担の流れ、また規模や効率を追求する事業者間の合従連衡の動きなど、引き続き業界構造の変化が進行しており、今後もゲームタイトルをゲームサービス事業者に売却するというニーズは拡大していくものと思われま

す。当社グループは、ゲームメーカーが制作したスマートフォンゲームを買取や協業により仕入れ、独自のノウハウでバリューアップした後に長期サービス運営を行うゲームサービス事業を営んでおります。現在は、ソフトウェア産業からサービス産業へと構造変化したゲーム産業の中で、ゲームサービス業という新たな業態を確立していくことを目指して事業を行っております。当社グループは、当第1四半期連結累計期間において2タイトルの仕入(うち1タイトルは協業からのスキーム変更)を行い、同期間末の全運営タイトル数は35タイトルとなっております(同期間1タイトルがエンディングを迎えました)。

また、当社グループでは、ゲームサービス事業と同時に「オンラインサービスの100年企業」として新規事業を創出するための活動も精力的に行っております。当第1四半期連結累計期間には、マーケティング関連の事業を展開する株式会社ネクストマーケティングを設立しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,898,194千円、営業利益は247,740千円、経常利益は233,991千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は98,200千円となっております。

なお、当第1四半期連結累計期間末における当社グループはゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて539,815千円減少し、9,683,534千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加(前連結会計年度末比577,898千円の増加)、長期前払費用の増加(前連結会計年度末比115,757千円の増加)があった一方で、のれんの減少(前連結会計年度末比120,840千円の減少)、未収入金の減少(前連結会計年度末比776,614千円の減少)などがあったことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて3,382,188千円減少し、2,790,260千円となりました。これは主に、短期借入金の減少(前連結会計年度末比2,851,201千円の減少)、長期借入金の減少(前連結会計年度末比172,159千円の減少)などによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて2,842,372千円増加し、6,893,273千円となりました。これは、資本金の増加(前連結会計年度末比1,382,523千円の増加)、資本剰余金の増加(前連結会計年度末比1,382,523千円の増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加(前連結会計年度末比98,200千円の増加)などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績見通しについては、スマートフォンゲーム市場を取り巻く環境が大きく変わろうとしており、当社グループはそれを好機として積極的にM&Aを行っていくことを予定しております。そのため、既存のスマートフォンゲームタイトルの運営に新たなゲームタイトルの仕入れ、ゲームメーカー又はその事業のM&Aなどが今後も連続的に加わることを想定され、将来予測が難しいビジネスモデルであると考えております。

したがって、通期及び四半期業績予想については合理的な予想数値を算出することが困難であるため開示を見合わせていただきます。なお、期中の進捗を踏まえて、算定可能になり次第、速やかに開示する予定としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,546,920	3,124,819
売掛金	1,360,731	1,365,862
未収入金	970,546	193,931
繰延税金資産	101,297	87,227
その他	769,264	380,287
貸倒引当金	△8	—
流動資産合計	5,748,752	5,152,129
固定資産		
有形固定資産	114,528	110,825
無形固定資産		
のれん	2,314,639	2,193,799
その他	292,173	242,438
無形固定資産合計	2,606,813	2,436,238
投資その他の資産		
長期前払費用	581,104	696,862
繰延税金資産	984,481	975,839
その他	187,669	311,640
投資その他の資産合計	1,753,255	1,984,341
固定資産合計	4,474,597	4,531,404
資産合計	10,223,349	9,683,534

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	265,896	268,300
未払金	605,764	310,883
短期借入金	3,840,933	989,732
1年内返済予定の長期借入金	631,836	631,836
未払法人税等	197,023	125,532
その他	181,300	186,439
流動負債合計	5,722,752	2,512,723
固定負債		
長期借入金	449,696	277,537
固定負債合計	449,696	277,537
負債合計	6,172,448	2,790,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,570,511	2,953,034
資本剰余金	1,551,068	2,933,591
利益剰余金	898,478	996,678
株主資本合計	4,020,057	6,883,304
新株予約権	30,843	9,969
純資産合計	4,050,900	6,893,273
負債純資産合計	10,223,349	9,683,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	2,898,194
売上原価	1,674,425
売上総利益	1,223,768
販売費及び一般管理費	976,027
営業利益	247,740
営業外収益	
受取利息	13
雑収入	310
営業外収益合計	323
営業外費用	
支払利息	11,279
株式交付費	2,793
営業外費用合計	14,072
経常利益	233,991
税金等調整前四半期純利益	233,991
法人税、住民税及び事業税	113,078
法人税等調整額	22,712
法人税等合計	135,790
四半期純利益	98,200
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,200

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	98,200
四半期包括利益	98,200
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	98,200
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

当社は、当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使による新株発行に伴い、資本金が1,382,523千円、資本剰余金が1,382,523千円増加しております。この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が2,953,034千円、資本剰余金が2,933,591千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループはゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。